

みやぎ・復興の歩み 4

2011.3.11 - 2015.3.11

ココロアライム



宮城県

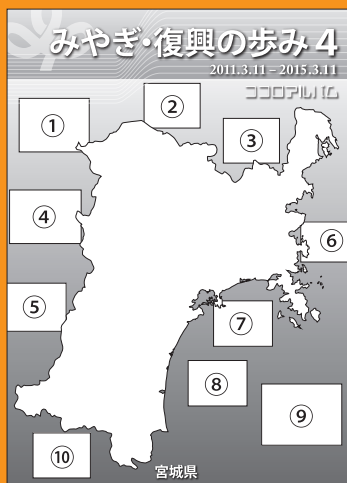
みやぎ・復興の歩み ココロアルバム

4

Contents

はじめに	— p.2
東日本大震災の概況	— p.3
宮城県震災復興計画	— p.5
復興の進捗状況	— p.6
地域の復興状況（気仙沼・本吉エリア）	— p.13
地域の復興状況（石巻エリア）	— p.17
地域の復興状況（仙台沿岸エリア）	— p.21
地域の復興状況（内陸エリア）	— p.25
みやぎの復興の歩み（年表）	— p.27
宮城県への支援状況	— p.29
被災者支援情報	— p.30

この冊子は、東日本大震災から4年が経過した宮城の復興の様子と、復興に向けた地域の取り組み（宮城県復興応援ブログ「ココロプレス」に掲載）を抜粋し、まとめたものです。



【表紙写真】

- ① 女川町運動公園住宅（女川町）
- ② 大島架橋事業「乙姫1号トンネル」貫通（気仙沼市）
- ③ 校舎が復旧した町立七ヶ浜中学校（七ヶ浜町）
- ④ 下増田地区防災集団移転促進事業移転先団地（名取市）
- ⑤ 震災遺構として保存された住宅の基礎（岩沼市）
- ⑥ 一部供用を開始した石巻魚市場（石巻市）
- ⑦ 造成団地から土砂を運ぶベルトコンベヤ（東松島市）
- ⑧ 営業を再開した日帰り温泉「わたり温泉鳥の海」（巨野町）
- ⑨ アーカイブ施設「南三陸ストーリー」（南三陸町）
- ⑩ 首都圏とつながった常磐自動車道（山元町）

【右写真】

中心部のかさ上げ工事が進み、新しいまちづくりが進められている女川町。再建工事が進められていた女川駅が完成し、平成27年3月21日にはJR石巻線が全線開通します。



平成 23 年 3 月 11 日の東日本大震災の発生から 4 年が経過しました。

この間、宮城県では国内外からの多くの皆さまのご支援に支えられながら、復興への歩みを進めてまいりました。県内では、各地で復興の槌音が響き、災害公営住宅への入居が進むなど、復興に向けた取り組みが着実に進展しつつあるところであります。

平成 26 年度は、「宮城県震災復興計画」に掲げた「再生期」のスタートの年であり、これまでの復旧・復興の進捗状況を踏まえ、個別の課題に的確に対応していくとともに、復興のスピードアップを図り、県政の最優先課題である一日も早い復興の実現を目指して取り組みを進めてまいりました。

併せて、将来を見据えた抜本的な再構築による「創造的な復興」に向け、仙台空港の民営化や医学部の新設、広域防災拠点の整備など、将来への「種まき」となるような取り組みにも積極的に挑戦してまいりました。

「みやぎ・復興の歩み 4」は、平成 26 年 3 月から 1 年間の県内各地での復興に向けたさまざまな取り組みや被災者の思いなどを取りまとめたものであります。

復旧・復興への道のりは、長く険しいものと考えておりますが、多くの皆さまに被災地の今の姿をご覧いただき、復興の状況をご理解いただきますとともに、引き続き被災地へのご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。

宮城県知事 村井嘉浩



東日本大震災の概況

地震により発生した巨大津波により、県内では1万人を超える死者・行方不明者が生じるとともに、沿岸部の広範囲にわたり未曾有の被害をもたらしました。内陸部においても大きな揺れが約3分間続き、電気、上下水道、ガスなどの被害が広範囲に及び、道路、公共交通機関、通信インフラも大きな被害を受けました。沿岸地域では従来一定の津波対策を行ってききましたが、今回の巨大津波を防ぐことはできず、壊滅的な被害を受け、最大32万人を超える被災者が避難所での生活を余儀なくされました。また、東京電力福島第一原子力発電所が津波被災し、空間に放射性物質が放出されたため、宮城県においても、放射能測定や各種検査などの対応に追われました。



気仙沼市



南三陸町



塩竈市



仙台市



岩沼市

発生日時
平成23年3月11日(金)
14時46分頃

震央地名
三陸沖(北緯 38.1度、東経 142.5度)
牡鹿半島の東約 130km

震源の深さ **約24km**

最大震度 **震度7** (栗原市) マグニチュード **M9.0**



震央

被害状況

詳しくは <http://www.pref.miyagi.jp/site/ej-earthquake/km-higaizyoukyou.html>

(1) 人的被害

死者	10,530人
行方不明者	1,255人

死者のうち909人が関連死
全国の被害者総数の約6割に相当

(2) 住家被害

全壊	82,993棟
半壊	155,126棟

全国の被害総数の約6割に相当

(3) 避難の状況

平成23年12月30日
県内の全避難所が閉鎖

ピーク時(平成23年3月14日)	
1,183施設(35市町村)	
320,885人	

応急仮設住宅入居者	35,332人
民間賃貸借上住宅入居者	32,503人
県外避難者	7,458人

(4) ライフライン関係被害

平成23年12月11日
県内のライフラインが全て復旧(津波で流出した地域を除く)

ピーク時	
停電	1,545,494戸
給水支障	35市町村
ガス供給支障	13市町

(5) 浸水面積 **327km²**

青森、岩手、宮城、福島、茨城、千葉の6県合計の浸水面積561km²の約6割、東京都23区の面積の半分以上に相当

(6) 地盤沈下

海拔0m以下の面積	56km²
-----------	-------------------------

震災後増加割合3.4倍

(7) 被害額の概要

交通関係	103億円	鉄道、バス、離島航路 <small>※東日本旅客鉄道分を含みません。</small>
ライフライン施設	2,394億円	電気、水道、都市ガス、通信・放送施設
保健医療・福祉関係施設	518億円	医療機関、社会福祉施設など
建築物(住宅関係)	5兆0,904億円	
民間施設など	9,906億円	工業、商業、自動車・船舶など
農林水産関係	1兆2,952億円	農業、畜産業、林業、水産業など
公共土木・交通基盤施設	1兆2,568億円	道路、河川、海岸、港湾、下水道など
文教施設	2,062億円	学校、社会教育施設、文化財施設など
廃棄物処理・し尿処理施設	54億円	
その他の公共施設など	762億円	観光施設、消防・警察関係施設、庁舎など
計	9兆2,223億円	

※(1)、(2)、(3)は平成27年1月31日、(7)は平成26年12月10日時点の情報です。
※(5)東京都23区の面積は622.99平方キロメートル



石巻市



栗原市



多賀城市



東松島市



巨理町



山元町



女川町



七ヶ浜町



角田市



名取市

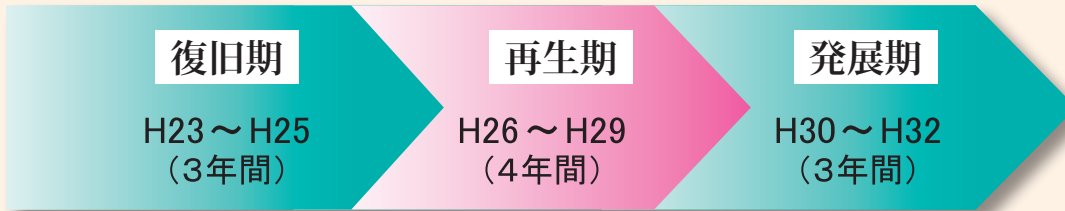
※ガソリンスタンドにできた長蛇の列



詳しくは <http://www.pref.miyagi.jp/site/ej-earthquake/fukkou-keikaku.html>

復興を達成するまでの期間をおおむね 10 年間とし、平成 32 年度を復興の目標に定め、その計画期間を「復旧期」、「再生期」、「発展期」の 3 期に区分します。特に、復旧期の段階から、再生期・発展期に実を結ぶための復興の「種」をまき、ふるさと宮城の復興に結びつけます。

計画期間：10 年間（目標：平成 32 年度）



宮城県の復興

基本理念

1. 災害に強く安心して暮らせるまちづくり
2. 県民一人ひとりが復興の主体・総力を結集した復興
3. 「復旧」にとどまらない抜本的な「再構築」
4. 現代社会の課題を解決する先進的な地域づくり
5. 壊滅的な被害からの復興モデルの構築

平成 26 年 3 月に策定した「宮城の将来ビジョン・震災復興実施計画（再生期）」について、復旧・復興の進捗状況や社会経済情勢を踏まえ、「再生期」の 2 年目を迎える平成 27 年度に向けて一部改訂し、「宮城の将来ビジョン・震災復興実施計画【平成 26 年度改訂版】」を策定しました。

復興のポイント

- 1 災害に強いまちづくり宮城モデルの構築
- 2 水産県みやぎの復興
- 3 先進的な農林業の構築
- 4 ものづくり産業の早期復興による「富県宮城の実現」
- 5 多様な魅力を持つみやぎの観光の再生
- 6 地域を包括する保健・医療・福祉の再構築
- 7 再生可能なエネルギーを活用したエコタウンの形成
- 8 災害に強い県土・国土づくりの推進
- 9 未来を担う人材の育成
- 10 復興を支える財源・制度・連携体制の構築

県内市町震災復興計画

県内 21 市町においても、地域の実情に応じて震災復興計画を策定しました。

■沿岸部市町

自治体名	震災復興計画	策定期期
仙台市	仙台市震災復興計画	平成 23 年 11 月
石巻市	石巻市震災復興基本計画	平成 23 年 12 月
塩竈市	塩竈市震災復興計画	平成 23 年 12 月
気仙沼市	気仙沼市震災復興計画	平成 23 年 10 月
名取市	名取市震災復興計画	平成 23 年 10 月
多賀城市	多賀城市震災復興計画	平成 23 年 12 月
岩沼市	岩沼市震災復興計画ランドデザイン	平成 23 年 8 月
東松島市	東松島市復興まちづくり計画	平成 23 年 12 月
亘理町	亘理町震災復興計画	平成 23 年 12 月
山元町	山元町震災復興計画	平成 23 年 12 月
松島町	松島町震災復興計画	平成 23 年 12 月

自治体名	震災復興計画	策定期期
七ヶ浜町	七ヶ浜町震災復興計画	平成 23 年 11 月
利府町	利府町震災復興計画	平成 23 年 12 月
女川町	女川町復興計画	平成 23 年 9 月
南三陸町	南三陸町震災復興計画	平成 23 年 12 月

■内陸部市町

自治体名	震災復興計画	策定期期
白石市	白石市東日本大震災復興計画	平成 23 年 9 月
角田市	角田市震災復旧・復興基本計画	平成 23 年 8 月
登米市	登米市震災復興計画	平成 23 年 12 月
栗原市	栗原市震災復興ビジョン	平成 23 年 12 月
大崎市	大崎市震災復興計画	平成 23 年 10 月
涌谷町	復興まちづくりマスタープラン	平成 24 年 3 月

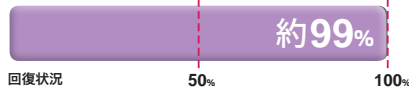
詳しくは <http://www.pref.miyagi.jp/site/hukkousien/keikaku.html>

電気、ガス、水道などの主なライフラインについては、家屋など流出地域を除き、復旧しました。

■ コンテナ貨物取扱量 (仙台塩釜港(仙台港区))

H26/1～12のコンテナ貨物取扱量： **212,825 TEU** ※速報値

H22/1～12のコンテナ貨物取扱量： **216,142 TEU**

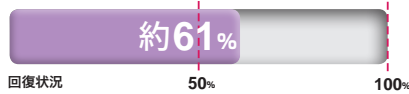


※ TEU：20フィートコンテナ1個分相当を示す単位

■ 仙台空港利用者数

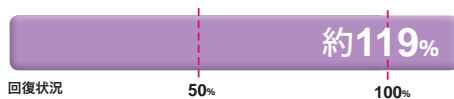
■ 国際線 H26/1～H26/12 利用者数： **165,491 人**

H22/1～H22/12 利用者数： **271,932 人**



■ 国内線 H26/1～H26/12 利用者数： **3,046,420 人**

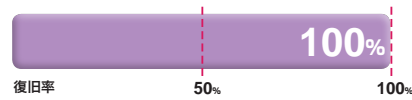
H22/1～H22/12 利用者数： **2,554,345 人**



■ 道路施設 (県管理分の通行規制)

全面通行止解除済箇所数： **137 箇所** (H26/4/30 現在)

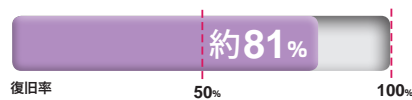
全面通行止箇所数： **137 箇所** (H23/3/11)



■ 鉄道 (県内在来線)

運行再開延長： 約 **371.7km** (H27/1/31 現在)

県内の鉄道延長： 約 **457.1km** (震災前)



運休区間： 5 区間 約 85.4km

常磐線 (浜吉田駅～相馬駅)	平成 29 年春の運行再開予定
仙石線 (高城町駅～陸前小野駅)	平成 27 年 5 月 30 日に運行再開
石巻線 (浦宿駅～女川駅)	平成 27 年 3 月 21 日に運行再開
気仙沼線 (柳津駅～気仙沼駅)	仮復旧として BRT(※)の運行
大船渡線 (気仙沼駅～盛駅)	仮復旧として BRT(※)の運行

※ BRT バス高速輸送システム



仙台塩釜港から中国・韓国をつなぐ新造船コンテナ専用船 (仙台市)



県道牡鹿半島公園線の開通により、震災により通行止めとなっていた県管理道路の全ての通行止めが解除 (石巻市・女川町)



仙台空港アクセス鉄道利用者が過去最高を記録し、仙台空港乗降客数が320万人を突破 (名取市・岩沼市)



JR 常磐線工事の様子 (山元町)

宮城県では、復興の進捗状況を毎月 11 日をめぐりに、県のホームページで発信しています。

宮城県 復興の進捗状況

検索

被災者の生活再建を進め、安心して暮らすことのできる良好な生活環境を確保するとともに、環境保全など現代社会を取り巻く諸課題に対応した社会の形成を目指します。

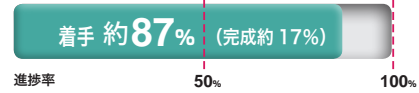
■防災集団移転促進事業

造成工事着手等地区 : **195 地区** (H27/1/31現在)
 住宅等建築工事可能地区 : **54 地区** (H27/1/31現在)
 計画地区数 : **195 地区** (H27/1/31現在)



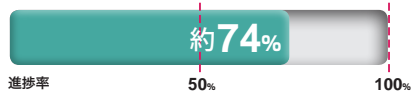
■災害公営住宅

事業着手戸数 : **13,487 戸** 21市町(H27/1/31現在)
 完成戸数 : **2,692 戸** 18市町(H27/1/31現在)
 計画戸数 : **15,484 戸** 21市町(H27/1/31現在)



■土地区画整理事業

工事着工 : **25 地区** (H27/1/31現在)
 計画地区数 : **34 地区** (H27/1/31現在)



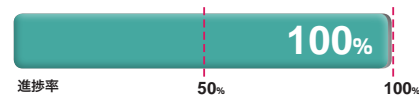
■津波復興拠点整備事業

工事着工 : **8 地区** (H27/1/31現在)
 計画地区数 : **12 地区** (H27/1/31現在)



■災害廃棄物

処理・処分量 : 約 **1,160 万トン** (H26/3/31現在)
 沿岸 15 市町の災害廃棄物の推計量 : 約 **1,160 万トン** (H26/3/31現在)



新しいまちづくりが進む玉浦西地区 (岩沼市)



笹山地区の防災集団移転促進事業 (七ヶ浜町)



森郷地区に完成した災害公営住宅 (利府町)



がれき処理が完了し、用地の現状復旧と返地が終了した小泉地区 (気仙沼市)

被災者の健康を守ることを最優先に考え、地域特性や再建後の地域社会の姿を想定し、地域における保健・医療・福祉の提供体制を回復・充実させます。

医療施設（病院・有床診療所）

再開した施設数：**107 施設**（H26/12/31 現在）

被災施設数：**108 施設**（H26/12/31 現在）

（参考）震災前施設総数：336施設



高齢者福祉施設（入所施設）

再開した施設数：**196 施設**（H26/12/31 現在）

被災施設数：**198 施設**（H26/12/31 現在）

（参考）震災前施設総数：463施設



障害者福祉施設

再開した施設数：**137 施設**（H26/12/31 現在）

被災施設数：**138 施設**（H26/12/31 現在）

（参考）震災前施設総数：670施設



保育所（へき地保育所含む）

再開した施設数：**126 施設**（H26/12/31 現在）

被災施設数：**135 施設**（H26/12/31 現在）

（参考）震災前施設総数：374施設



サポートセンター

仮設住宅の見守りや生活・健康相談などを行うサポートセンターを沿岸13市町60箇所に開設（平成26年12月1日現在）

子どもの心のケア等

児童相談所、子ども総合センターで構成する「子どもの心のケアチーム」を組織し、巡回相談や医療的ケアに対応

みやぎ心のケアセンター

心のケア拠点としての「みやぎ心のケアセンター」を設置し、被災者を対象とした訪問支援や相談会などの支援体制を整備

宮城県聴覚障害者情報センター（愛称：みみサボみやぎ）

被災した聴覚障害者の生活再建に向けた、相談支援や情報発信等を実施



（仮称）町立南三陸病院着工の様子（南三陸町）



災害時における聴覚障害者の支援拠点となる「みみサボみやぎ」（仙台市）



健康に関する個別相談などを行う「まちの保健室」（石巻市）



再建工事が進む保育所と児童館（亶理町）

宮城県では、復興の進捗状況を毎月11日をめぐりに、県のホームページで発信しています。

宮城県 復興の進捗状況

検索

復興の進捗状況

経済・商工・観光・雇用関連

ものづくり産業の早期復興と、商業や観光の再生とにぎわいづくり、県民生活を支える雇用の創出を最優先課題として、経済基盤を再構築します。

■被災工商業者の営業状況

営業継続会員数： **9,837 会員** (H26/3/31 現在)

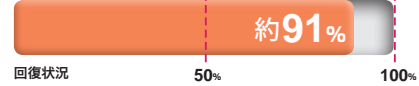
県内 33 商工会 6 商工会議所 所の被災会員数：**11,425 会員** (H26/3/31 現在)



■観光客入込数

H25： **5,569 万人**

H22： **6,129 万人**



合同適性試験及び合同企業説明会（仙台市）



震災の語り部（山元町）

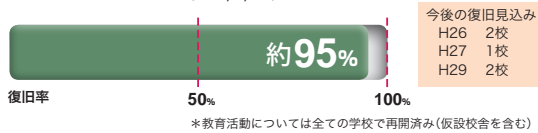
復興の進捗状況

教育関連

■県立学校施設（復旧工事）

復旧済施設数： **86 校**（高等学校 68/73校、特別支援学校 18/18校）(H27/1/31 現在)

被災施設数： **91 校** (H23/3/11)



■県立社会教育施設・県立社会体育施設（復旧工事）

復旧済施設数： **14 施設**（社会教育施設 9/11施設、社会体育施設 5/5施設）(H27/1/31 現在)

被災施設数： **16 施設** (H23/3/11)



学校で学ぶすべての子どもたちが、夢と志を持って、安心して学べる教育環境を確保します。

■私立学校施設（復旧工事）

復旧済施設数： **157 施設**（幼稚園 90/95園、小中高 29/29校、専修・各種 38/39校）(H27/1/31 現在)

被災施設数： **163 施設** (H23/3/11)



宮城県気仙沼向洋高等学校の仮設校舎（気仙沼）

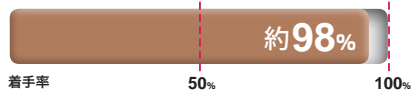


内陸に移転し、新しい園舎が完成した幼稚園（東松島市）

「次世代に豊かさを引き継ぐことのできる持続可能なみやぎの県土づくり」の理念のもと、県民の命と生活を守り、震災を乗り越え、さらなる発展につなげる県土づくりを目指して取り組みます。

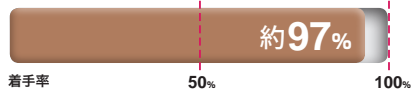
■道路・橋梁施設(復旧工事)

着手箇所数：**1,512箇所** (H27/1/31現在)
被災箇所数：**1,546箇所** (道路：1,421箇所、橋梁：125箇所) (H26/3現在)



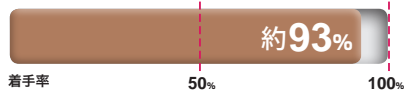
■河川施設(復旧工事)

着手箇所数：**266箇所** (H27/1/31現在)
被災箇所数：**274箇所** (H26/3現在)



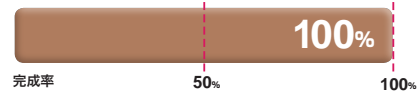
■海岸保全施設(復旧工事)

着手箇所数：**69箇所** (H27/1/31現在)
被災箇所数：**74箇所** (H26/3現在)



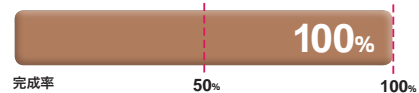
■砂防・地滑・急傾斜施設(復旧工事)

完成箇所数：**8箇所** (H26/3現在)
被災箇所数：**8箇所** (H26/3現在)



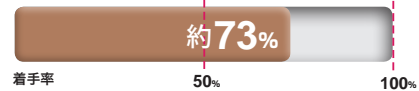
■下水道施設(復旧工事)

完成箇所数：**121箇所** (H26/3/31現在)
被災箇所数：**121箇所** (H26/3現在)



■港湾施設(復旧工事)

着手箇所数：**214箇所** (H27/1/31現在)
被災箇所数：**292箇所** (H26/3現在)



復旧工事が進む定川の橋梁 (石巻市)



河川堤防の復旧工事の様子 (気仙沼市)



海岸防潮堤の復旧状況 (山元町)



塩釜港区貞山1号埠頭の復旧状況 (塩蔵市)

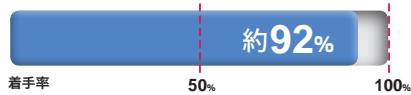
沿岸部全域を中心に甚大な被害を受けたことから、諸施策の抜本の見直しを含めた大胆な取り組みなどにより、地域経済をけん引する新たな成長産業へとステップアップを図るとともに、宮城県を我が国の食料供給基地として再生します。

■農地（除塩含む）

着手面積 : 約**11,950ha** (H27/1/31現在)
 復旧対象面積 : 約**13,000ha** (H27/1/31現在)

〈年度別復旧計画〉

H23	5,780ha
H24	5,220ha
H25	660ha
H26	960ha
H27	300ha
H28	80ha



■園芸（園芸用ガラス室・ハウス復旧面積）

復旧面積 : 約**163ha** (H27/1/31現在)
 復旧対象面積 : 約**178ha** (H23/3/11)

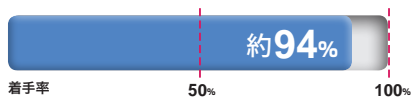


■農業用施設（排水機場）

着手箇所数 : **44箇所** (H27/1/31現在)
 被災箇所数 : **47箇所** (H27/1/31現在)

〈年度別復旧計画〉

H23	4箇所
H24	29箇所
H25	11箇所
H26	3箇所



■畜舎・畜産関連施設（堆肥センターなど）

復旧済施設数 : **184施設** (H27/1/31現在)
 復旧予定施設数 : **190施設** (H27/1/31現在)



■水稻（津波被害市町村作付面積）

H26年産水稻作付面積 : **17,013ha** (H26/12/18現在)
 H22年産米作付面積 : **19,449ha**



塩害の影響を調査する試験作付（東松島市）



復興交付金を活用し、整備されたビニールハウス（石巻市）



復旧が進む農地海岸（松島町）



畜産経営総合復興支援事業により整備された畜舎（川崎町）

■ 治山施設 (山地・海岸)

着手箇所数 : **11箇所** (H27/1/31現在)

被災箇所数 : **20箇所** (H23/3/11)



■ 林道施設

着手箇所数 : **61箇所** (H27/1/31現在)

被災箇所数 : **62箇所** (H23/3/11)



■ 木材加工工場の製品出荷額

H25 製品出荷額 : 約 **411億円**

H22 製品出荷額 : 約 **276億円** (主要工場16社)
*震災で生産停止

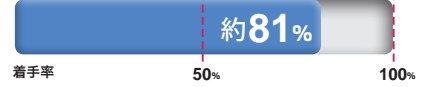
主要工場 10社
製材工場 3社
合板工場 3社
チップ工場 3社



■ 漁港 (復旧工事)

着手箇所数 : **1,162箇所** (H27/1/31現在)

被災箇所数 : **1,439箇所** (H27/1/31現在)



■ 漁船

稼働漁船隻数 : 約 **8,300隻** (H27/1/31現在)

震災前の稼働漁船隻数 : 約 **9,000隻** (H23/3/11)



■ 主要魚市場*の水揚げ状況

*塩釜、石巻、女川、南三陸、気仙沼

H26の水揚げ金額 : 約 **530億円** (約25万6千ト)
(H26/1~H26/12)

H22の水揚げ金額 : 約 **602億円** (約32万ト)
(H22/1~H22/12)



県産材を使用した災害公営住宅 (登米市)



東名漁港に再建された共同カキ処理場 (東松島市)



復興住宅へ供給する人工乾燥材の生産 (石巻市)



水産加工品等の販売力強化を目的に開催された商談会 (仙台市)

宮城県では、復興の進捗状況を毎月11日をめぐりに、県のホームページで発信しています。

宮城県 復興の進捗状況

検索

気仙沼・本吉エリア

気仙沼市 南三陸町



安波山から眺めた4年目のまち並み(気仙沼市)



気仙沼・本吉エリアは、宮城県の北東部に位置し、気仙沼市、南三陸町の1市1町で構成されています。

復興のリーディングプロジェクトとして整備が進められている「三陸沿岸道路」は、南三陸道路で、平成26年4月に「1号トンネル」の貫通式が行われるなど、(仮称)志津川IC～(仮称)南三陸海岸ICの平成28年度供用開始に向けて、急ピッチで工事が進められています。また、平成26年11月には、本土と大島を結ぶ大島架橋事業で、平成30年度の完成をめざして本体工事が始まりました。

基幹産業である水産業は、気仙沼魚市場で生鮮カツオの水揚げ量が18年連続の日本一(1万9,569トン)となったほか、サンマの水揚げは前年の2.5倍となる2万7,218トンと、全国2位になりました。

また、南三陸町では、国の関係7府庁が共同で推進している「バイオマス産業都市」に選定され、食品廃棄物や下水汚泥を用いたバイオガス発電・熱利用などの取り組みが始まりました。

気仙沼・本吉エリアの被害状況

	地域合計	県内合計
死者	1,831人	10,530人
行方不明者	440人	1,255人
全壊	11,626棟	82,993棟
半壊	2,749棟	155,126棟

(平成27年1月31日現在)

応急仮設住宅入居者数

	平成24年3月	平成27年1月
プレハブ住宅	14,094人	10,398人
民間賃貸借上住宅	6,085人	2,274人
計	20,179人	12,672人

(平成27年1月31日現在)

災害公営住宅整備(事業着手)状況

	平成26年2月	平成27年2月
計画戸数	2,970戸	2,893戸
着手戸数	2,162戸	2,893戸
完了戸数	0戸	179戸

(平成27年2月28日現在)



市内で初めて入居が始まった南郷災害公営住宅(気仙沼市)



復興のまちづくりを紹介する情報センター(南三陸町)

気仙沼・本吉エリアの定点観測

気仙沼市大谷海岸周辺

防潮堤が損壊し、海岸防災林の多くが流出した大谷海岸は、土のうによる応急対策が行われ、施設復旧と防災林の再生が進められています。



気仙沼市魚市場周辺

津波と地盤沈下により大きな被害を受けた魚市場は、土地のかさ上げ工事が進められ、魚の水揚げ量は震災前の7割以上まで回復しました。



気仙沼市唐桑町只越地区周辺

津波によって道路が寸断されましたが、復旧工事が完了し、車などが通行できるようになりました。



南三陸町立志津川中学校からのまち並み

町全体が津波で被災しましたが、かさ上げ工事のために、たくさんの重機が稼働しています。



南三陸町志津川助作周辺

被災したJR気仙沼線の応急的な輸送確保のために、BRT（バス高速輸送システム）の専用道が整備されました。



南三陸伊里前地区のまち並み

震災により発生した大量のガレキ撤去が完了し、写真奥では伊里前漁港の復旧工事が進められています。



2014年4月2日 水曜日

復旧！「気仙沼シャークミュージアム」始動！

(気仙沼市)



4月2日、東日本大震災で被災した気仙沼産業センター「海の市」が復旧・プレオープンし、サメをテーマにした博物館「気仙沼シャークミュージアム」などの一部施設が3年ぶりに営業を再開しました。

2014年5月11日 日曜日

豊かな森と海を守る、浜の日本男児

(南三陸町)



「津波はやってきた。でも海は、それでも俺たちを生かそうとしてくれているんだなって思います」と、この春、震災後初めて牡蠣を出荷した南

三陸町伊里前の千葉拓さん。「自分たちがつくった牡蠣を直接販売し、おいしいと言ってもらえるのはやりがいがあります」と話していました。

2014年5月24日 土曜日

「やっぱり海はおもしろい！」

(南三陸町)



「やっぱり海で生きていくんだと決めた。歌津の海の豊かさ。そのあたりまえを、町の友だちと一緒にあって、楽しみながら発信していけたらいいなって」。南三陸町歌津泊浜の漁師・高橋直哉さんは、まだ仮設だという作業場で話してくださいました。

2014年5月25日 日曜日

漁業の復興へ！「地上いけす」を整備 ～カタルフレンド基金～

(気仙沼市)

「漁業の再生が東北の復興のかぎになると思います。カタルがその一翼を担うことができうれしいです」。中東・カタル国国の助成で気仙沼市北東部の小田地域に「地上いけす」が建設され、駐日特命大使も出席して盛大な開所式が開かれました。



2014年6月23日 月曜日

困っている人がいれば 行動するのが当たり前

(気仙沼市)

配食サービスの「気仙沼給食センター」を運営する生駒和彦さん。津波火災で自宅を失いましたが、難を逃れた工場に残った食材と燃料をすべてつぎ込んで、震災が発生したその夜から避難所におむすびなどを届け続けました。



2014年6月25日 水曜日

復興と海の未来を志す。

(南三陸町)

震災を機に仙台での会社員生活を辞めて南三陸町志津川に戻り、養殖漁業に取り組む小野具大さん。「ホヤとホタテ、また漁協の部会でカキ、ワカメなども手掛けています。でもこれまでやったことのない新しい養殖も試してみたいですね」と夢は広がります。



2014年7月26日 土曜日

走行距離 7万5400km！ 岡山から応援と友情のワゴン車

(南三陸町)



岡山県笠岡市の「明日への架け橋 kasaoka」の皆さん。「全国ぼうさい朝市ネットワーク」の縁で、南三陸町の「復興市」では第1回からの常連です。往復約2,600km。29回目となる7月26日には、全国から募った浴衣110着を担いで駆けつけてくれました。

2014年8月27日 水曜日

私たちもできることで応援します

(気仙沼市、丹波市、広島市)

「震災の時は本当にたくさんの人に助けられたから」。東日本大震災で自宅が大規模半壊した吉田久仁子さんは、地域の女性たちが始めた「私たちにできることで恩返し」という呼び掛けに賛同し、広島県と兵庫県に掃除用のタオルや歯ブラシを送る活動に参加しています。



2014年8月30日 土曜日

夜空に描くみんなの未来！ 福興市で「三河手筒花火」

(南三陸町)



南三陸町志津川の夏の風物詩「八幡川かがり火まつり」に「三河手筒花火」が華を添えました。発案した町職員の篠宮彰里さんは、愛知県新城市役所からの派遣職員。「来年もまた、続いて、南三陸町の新しい風物詩になってくれたらうれしいです」と語ります。

2014年9月16日 火曜日

愛知×宮城おいしいつながり！ 豊川市から大葉のプレゼント

(南三陸町)

愛知県豊川市などから来ていただいた応援職員の方々のご縁で、南三陸町の飲食店組合へ豊川市の「JAひまわり」「東三温室園芸農業協同組合」から「大葉」4,000枚がプレゼントされ、「さんさん商店街」で贈呈式と料理のお披露目が行われました。



2014年9月30日 火曜日

新しいまちが生まれる。私たちが、 できることを～気仙沼市南郷地区

(気仙沼市)

災害公営住宅の建設が進む気仙沼市南郷地区で、受け入れ先の住民の皆さんによる勉強会が開催されました。地域住民の皆さんが準備を進め、地元の気仙沼市社会福祉協議会と宮城県社会福祉協議会がサポートに当たりました。



2014年11月2日 日曜日

「300回の『ありがとう』を 言わせてください！」

(南三陸町)

「たくさんの人たちからいただいた支援や応援に何か恩返しをしたいね～」。11月2日、南三陸町歌津にある産直施設「みなさん館」で、縁のある大勢のボランティアを招いた「第2回金比羅丸&小野花匠園&高芳丸芋煮会」が開催されました。

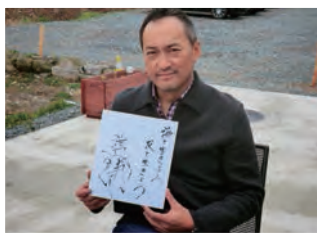


2014年11月30日 日曜日

「黙って寄り添うことも大切」 ～俳優・渡辺謙さん

(気仙沼市)

「人々の心を温かくし、勇気づけ、夢を与えられる場所」としてカフェ「K-port (心の港)」を気仙沼市内にオープンさせた、俳優の渡辺謙さん。「未来は個々人のもの。黙って寄り添う事も大切」と、毎日、K-portにファックスでメッセージを届けています。



2014年12月11日 木曜日

その歌声と笑顔には太陽もかなわない ～サンシズジュニア

(南三陸町)

地元の祭りやコンサート、パーティはもちろん、時に沖縄など県外から招かれて演奏を披露している「サンシズジュニア」。沖縄から支援にやって来た陸上自衛隊第15旅団の音楽チーム「サンシズ」から三線を教わった子どもたちが結成したグループです。



▲ 大島架橋のイメージ

トピックス

大島と本土を結ぶ大島架橋

(気仙沼市)

気仙沼の離島「大島」と本土をつなぐ「大島架橋」。平成26年8月には、地元の小学生などを対象に、現場見学会などを行ったほか、11月には工事の安全と早期完成を祈念して着工式が開催されました。架橋の愛称は「鶴亀大橋」。平成30年度の完成を目指して工事が進められています。



▲ 大島小学校の児童による現場見学会

石巻エリア

石巻市 東松島市 女川町



日和山から眺めた4年目のまち並み（石巻市）

石巻エリアは、宮城県の東部に位置し、石巻市、東松島市、女川町の2市1町で構成されています。平成26年度は多くの公共交通機関が復旧し、各市町で宅地の造成工事が本格的に進みました。

平成26年4月には、震災により通行止めとなっていた県道牡鹿半島公園線（通称：コバルトライン）が開通し、これにより県内全ての県管理道路の通行止めが解除されました。また、震災により運休していたJR石巻線は、平成27年3月に新しい女川駅の開通に合わせて、全線が開通します。

水産業の水揚げは、女川が震災前の平成22年を上回ったほか、石巻は9割以上まで回復しました。震災により全壊した石巻魚市場では、平成27年8月の完成を目指して再建工事が進められ、鉄骨4階建て、建物の長さは約880メートルで、震災前に「日本一」と言われた規模を上回る計画となっています。

また、東松島市等では住民主体の自治組織が中心となり、地域のコミュニティづくりが進められています。



石巻エリアの被害状況

	地域合計	県内合計
死者	5,284人	10,530人
行方不明者	714人	1,255人
全壊	28,475棟	82,993棟
半壊	18,953棟	155,126棟

〔平成27年1月31日現在〕

応急仮設住宅入居者数

	平成24年3月	平成27年1月
プレハブ住宅	24,328人	17,330人
民間賃貸借上住宅	22,692人	8,739人
計	47,020人	26,069人

〔平成27年1月31日現在〕

災害公営住宅整備(事業着手)状況

	平成26年2月	平成27年2月
計画戸数	5,955戸	5,928戸
着手戸数	2,767戸	4,450戸
完了戸数	149戸	976戸

〔平成27年2月28日現在〕



大量の土砂搬出のために設置されたベルトコンベヤ（東松島市）



町民陸上競技場跡地に建設された災害公営住宅（女川町）

石巻エリアの定点観測

石巻市門脇町周辺

太平洋に近く、最も被害が大きかった地域の1つですが、被災した建物が解体され、がれきが片付けられました。



JR石巻駅周辺

震災により被災した石巻市立病院は、JR石巻駅の近くに移動することが決まり、再建工事が進められています。



石巻市雄勝地区周辺

壊滅的な被害を受けた雄勝地区は、被災した建物が撤去され、新しいまちづくりに向けた整備が進められています。



東松島市鳴瀬地区周辺

運河周辺を埋め尽くしたがれきの撤去が完了し、運河横の道路は野蒜北部丘陵地区の復興工事車両が通行できるようになりました。



東松島市小野地区周辺

冠水する被害を受けましたが、写真左側水路奥では、災害公営住宅が整備されました。



女川町女川浜周辺

町の中心部が壊滅的な被害を受けましたが、復興まちづくり事業が本格的に進んでいます。



2014年2月15日 土曜日

“おのくん” に会いに来て！

(東松島市)



「小野駅前で作っているから『おのくん』でいいんでねえ？」「がんばろう！」じゃなくて“めんどくしえ”。気負いなく、無理をせず、肩の力を抜いて…。これが「小野駅前郷プロジェクト」の合い言葉です。「おのくん」はここで生まれて全国の、世界中の「里親」と元気に暮らしています。

2014年3月15日 土曜日

復幸男、走りました。

(女川町)

「女川町出身として、絶対に復幸男になりたかった」と、鈴木大さん。「津波が来たら高台へ逃げる」という津波避難の基本を、何かの形で後世へ伝えたいという思いから始まった競走大会「津波伝承 復幸男」で2連覇です。



2014年3月16日 日曜日

女川町復幸祭 2014

(女川町)

「この町の主人公はあなたです。女川、東北の素晴らしさを皆さん自身がどんどん発信し、女川町が21世紀のモデルになってほしい」。「女川町復幸祭2014」の女川町長とのトークショーで、俳優の別所哲也さんが熱いエールを送りました。



2014年4月18日 金曜日

桜の舞台で舞を奉納

(石巻市)

石巻市雄勝町桑浜に鎮座する「白銀神社」(しろがねじんじゃ)の春季例祭。国指定重要無形文化財「雄勝法印神楽」の奉納も行われ、会場となった桑浜と羽板両地区は一日中、華やぎました。



2014年6月1日 日曜日

3年間、待っていました！

「金華ほや・帆立 復興感謝祭」 (石巻市)



「水揚げまでの3年間、たくさんのご支援のおかげで、ついにホヤ養殖が復活しました」と寄磯ほや養殖部会長の遠藤正さん。3年ぶりの「宮城のホヤ」は、海の滋味をそのままいただいたような味わいで、ほのかな甘さもありました。

2014年6月1日 日曜日

我歴 stock in 女川～冒険編～

子どもたちが主役のファッションショー (女川町)

第4回我歴 stock in 女川。今年のテーマは「子どもたちが主役」。中でも子どもたちが輝いたのは、2012 Miss Universe Japanの原綾子さんがプロデュースしてくれた「AHS プレゼン チャリティーファッションショー」でした。



2014年7月25日 金曜日

行先は、「世界一面白い街」。マンガタンライナー号、出発進行！

(石巻市)

「石巻 STAND UP WEEK2014」のオープニングとして、特別列車「石巻アイデアトレイン on 石巻線マンガタンライナー」が運行されました。車内では東北の未来を語り合うワークショップが開かれ、乗客の皆さんがアイデアを次々に発表していました。



2014年7月27日 日曜日

イシノマキコレクション！

(石巻市)

「この夏は、パリコレではなく、マキコレ！」。1人の高校生が想いを行動に移して実現したイベント、その名も「イシノマキ コレクション (マキコレ)」。「石巻で見たことがないファッションショーにしたい」と山田はるひさんは意気込みます。



2014年9月29日 月曜日

ダンスの先生が女川町にやってきた

(女川町)

「自分には何が出来るか？」被災地を訪れる人たちの多くが自分自身に向ける問いかけ。19歳でダンス歴12年のベテラダンサー C-ONE さんの答えは、「子どもたちにダンスの楽しさ、体を動かす素晴らしさを伝えたい」でした。



2014年9月29日 月曜日

笑って笑ってもっと元気に！ 小学校で落語の授業

(東松島市)

「笑う門には福来る。今後も東北に福を運びたい」。東松島市立鳴瀬桜華小学校で、上方落語の桂かい枝師匠と江戸落語の三遊亭兼好師匠による「落語の授業」が行われました。子どもたちは、高座に上がったたり、落語の様々な仕草を教してもらったり、笑い転げたりと多くの経験ができました。



2014年10月3日 金曜日

親子で繋ぐ新たな伝統。石巻唯一の 糰(こうじ)製造所

(石巻市)

津波で店舗、工場、倉庫の全てを奪われて一時は存続も危ぶまれた糰(こうじ)製造所。創業明治42年のお店は、自然発酵の甘糰飲料を新たな商品として開発し、再出発しました。原材料はササニシキ等米と水のみ。すべて宮城県産です。



2014年10月20日 月曜日

挑戦中！たくさんの“実り”が輝く大地へー

(東松島市)

「なに、オレたちが拓く前は、ここは塩田だったんだ」。津波をかぶった農地の復旧工事が進められている東松島市の野蒜地区で、試験栽培されたソバが収穫されました。同地区では塩害が農作物の成育に及ぼす影響などを調査して、今後の営農に役立てようという取り組みが進められています。塩害を乗り越えて、県と市とJA、そして農家の挑戦が続きます。



2014年11月11日 火曜日

子どもたちが元気に走りました！！ うみねこキッズランナー

(女川町)

「女川の町に元気を届けます！！」震災前年まで26回を数え、全国から毎年1,000人以上ものランナーが参加していた「女川うみねこマラソン」。震災後は復旧工事のため休止していましたが、保険会社のサポートにより「小学生の部」限定で復活しました。



2014年12月13日 土曜日

世代間交流を願う灯 ～東松島市のイルミネーション～

(東松島市)

東松島市矢本東市民センターでライトアップされた「ファンタジックイルミネーション」。矢本地区の住民が中心となり企画、運営を行う100%手作りのイベントです。市民協働の一環として、平成20年に第1回目が開催され、震災後の今も続いています。



トピックス

夢を乗せた電車の復活へ

(東松島市)

震災による津波でレールごと流されてしまったJR仙石線。運転を休止している高城町駅と陸前小野駅間では、代替バスを運行しながら、駅を内陸に移転するなど復旧工事を進めてきました。平成26年12月には、移転再建中の東名駅でレール締結式が行われ、震災後、約3年9か月の月日を経て、再びつながりました。全線開通は平成27年5月を予定しています。



▲ 陸前大塚・陸前小野間レール締結式の様子



▲ 旧野蒜駅を改修した野蒜地域交流センター

仙台沿岸エリア

仙台市 塩竈市 名取市 多賀城市
 岩沼市 亶理町 山元町 松島町
 七ヶ浜町 利府町



震災の惨禍を後世に伝える慰霊塔（岩沼市）

宮城県のほぼ中央に位置する仙台エリアのうち、沿岸部の市町は、仙台市、塩竈市、名取市、多賀城市、岩沼市、亶理町、山元町、松島町、七ヶ浜町、利府町の5市5町で構成されています。

平成26年12月には、相馬-山元ICが開通し、鳥の海パーキングエリアが開設されたほか、平成27年3月には、首都圏と宮城を結ぶ常磐自動車道が全線開通し、交流人口の増加など、復興に向け大きく加速することが期待されています。

災害公営住宅については、多賀城市と亶理町で平成26年10月から入居が始まりました。このうち、多賀城市の桜木公営住宅は、津波浸水地域に立地することを考慮し、160戸の住戸を2階以上に配置し、津波避難ビルとしての機能を持たせています。

また、仙台市では、国際的な防災戦略について議論する国連防災世界会議が平成27年3月に開催され、東日本大震災の経験や教訓を世界へ発信する貴重な機会となりました。

仙台沿岸エリアの被害状況

	地域合計	県内合計
死者	3,385人	10,530人
行方不明者	95人	1,255人
全壊	41,546棟	82,993棟
半壊	124,922棟	155,126棟

(平成27年1月31日現在)

応急仮設住宅入居者数

	平成24年3月	平成27年1月
プレハブ住宅	14,429人	7,604人
民間賃貸借上住宅	37,108人	18,656人
計	51,537人	26,260人

(平成27年1月31日現在)

災害公営住宅整備(事業着手)状況

	平成26年2月	平成27年2月
計画戸数	6,347戸	6,307戸
着手戸数	4,870戸	5,924戸
完了戸数	126戸	1,558戸

(平成27年2月28日現在)



美田園地区に建設中の災害公営住宅（名取市）



津波被害を受けた施設としては、県内で初めて現地再建を果たした長瀬小学校（亶理町）

仙台沿岸エリアの定点観測

七ヶ浜町菖蒲田浜周辺

津波によりコンテナなどが流れ着いた菖蒲田浜は、新しい防潮堤の工事などが進められています。



多賀城市桜木地区周辺

津波被災地域で、防災拠点機能や多世代が交流できる施設を併設する災害公営住宅が完成しました。



名取市関上漁港周辺

津波により甚大な被害を受けましたが、岸壁や漁港施設の復旧が進み、多くの船が着岸しています。



岩沼市海浜緑地周辺

津波被害を受けた海浜緑地を復旧し、自然環境に恵まれたレクリエーション活動の場として整備が進められています。



塩竈市マリゲート周辺

津波で船が陸に上がったマリゲート周辺は、県内で最も早く仮設商店街が営業を開始し、休日には多くの観光客が訪れます。



山元町新坂元駅周辺

津波による被災で運休中のJR常磐線を内陸に移設するため、新しい駅が建設される予定です。



2014年3月24日 月曜日

「グルック アウフ!! いつも共に」 ～ FC シャルケが来た!!

(岩沼市)



ドイツの名門サッカーチーム「FC シャルケ 04」のコーチ陣が来日し、被災地の子どもたちのためにサッカーの指導をしてくださいました。「子どもたちがすごく楽しそうだったし、我々も楽しみました」「宮城ががんばってくれるのを信じています」コーチ陣からの熱いメッセージです。

2014年4月9日 水曜日

求む! 環境作りの支援者

～巨理町仮設住宅の現状～ (巨理町)

「我々だけでは限界。専門家の知識と知恵が必要です」と巨理町公共ゾーン仮設住宅「ふれあいの会」の木村一行さん。仮設住宅を出て新たな住まいに巣立つ人が増えている裏側で、住民が減少していく仮設住宅のコミュニティをどう維持するのかが、新たな課題となっています。



2014年4月30日 水曜日

古文書は残された。大震災からの歴史資料の救出～慶長奥州地震津波

(仙台市)



「自衛隊が『体のレスキュー』ならば、古文書を残すこと、地域の歴史を守るということは『心のレスキュー』です」と東北大学災害科学研究所の蝦名裕一助教。人びとが書き残してきたさまざまな記録が、大震災を読み解くカギになると考えています。

2014年5月17日 土曜日

解体の危機から、歴史的建造物を守る

(塩竈市)



「保存活動ができていないのは、名前が出ない志のある市民の皆さんと多くの協力者が支えてくださるから」とNPO みなとしほがまの副理事長・高橋幸三郎さん。解体の危機にある歴史的建造物を、自らの手で買い取り保存活用する取り組みが注目を集めています。

橋幸三郎さん。解体の危機にある歴史的建造物を、自らの手で買い取り保存活用する取り組みが注目を集めています。

2014年5月31日 土曜日

“31世紀の子どもたち”に届け! 千年希望の丘植樹祭

(岩沼市)

何もかもが津波に流されてしまった場所に震災ガレキを集め築造した丘。そこに「千年先の未来を生きる子どもたちへ、いのちを守る森を届けよう」と約7,000人もの人たちが全国からやってきて、「緑の長城」のために1本1本植樹をしてくれました。



2014年6月21日 土曜日

笑顔あふれる「みんなのマルシェ」、今年も盛況!

(多賀城市)



東日本大震災の2か月後、「多賀城を応援しよう」と始まったマルシェは今回で5回目。どの店先でも会話が弾み、笑顔であふれ、来場者も出店している方々も、若いボランティア「復興応援団」の皆さんも心からこのマルシェを楽しんでいました。

東日本大震災の2か月後、「多賀城を応援しよう」と始まったマルシェは今回で5回目。どの店先でも会話が弾み、笑顔であふれ、来場者も出店している方々も、若いボランティア「復興応援団」の皆さんも心からこのマルシェを楽しんでいました。

2014年7月31日 木曜日

高校生の私たちにできる事

～目黒星美学園中学高等学校の取り組み～ (巨理町、山元町)



「少しでも笑顔になっていただけるように被災者の方の“心に寄り添う”。それが高校生の私たちにできること」「ここで学んだことを多くの人に伝えることが、私たちの責任」。目黒星美学園中学高等学校(東京)の有志が、今年も「被災地ボランティア研修」に取り組みました。

2014年8月21日 木曜日

山元町の未来のために～ 「やまもと語りべの会」

(山元町)

山と海に囲まれた自然豊かな町、山元町。その記憶を後世に語り継ぎ、町の魅力をたくさんの人に知ってもらいたいと活動しているのが「やまもと語りべの会」です。群馬県館林市立第一中学校の被災地体験学習に同行し、案内していただきました。



2014年8月30日 土曜日

記憶の中の住まいを訪ねて

(仙台市)



「床下に池があったのですか？ 贅沢な設計ですねえ…！」被災した方からの聞き取りを手掛かりに、震災で失われた住まいを「見取り図」で復元する試みが進められています。宮城県建築士会女性部会の「記憶の中の住まい」プロジェクトです。

2014年9月11日 木曜日

失われた「闇市」。そして「復興市場」へ

(塩竈市)

「場所さえあれば、まだまだできる。復興のためにやらなければいけないことが、まだいっぱいあるからね。津波で流された塩釜海岸中央鮮魚市場（通称「闇市」）から仮設の「しおがま・みなと復興市場」に移った鮮魚商・佐藤秀治さんの言葉です。



2014年9月26日 金曜日

鎮守の森を「環境教育防災林」に

(利府町、七ヶ浜町)



たくさん子どもたちの命を奪った東日本大震災を機に、NPO法人宮城県森林インストラクター協会では「環境教育防災林」の活用を提唱しています。この

日、七ヶ浜町の諏訪神社・鎮守の森で「環境教育防災林」の見学会が開かれました。

2014年10月5日 日曜日

優しさと強さのメッセージ

『Songs from Singapore to Tohoku2014』@ゆりあげ港朝市

(名取市)

「音楽のチカラで、被災地の皆さんを元気づけたい」。シンガポール国内でさまざまな被災地支援活動を行っているシンガーソングライターの Sachiyo (サチヨ) さんが、ゆりあげ港朝市のステージで歌いました。



2014年12月9日 火曜日

88年間ありがとう！ おらほの水族館

(松島町)



約1メートルの津波に襲われた松島水族館。全国各地の水族館からの支援のおかげで約1か月半で営業を再開しました。しかし、老朽化等により、多くの方々に元気をわけてくれた水族館は、平成27年5月に、88年の長い歴史に幕をとじます。

2015年2月4日 水曜日

日本三景「松島」から「世界の松島湾」へ

(松島町)

松島湾に面した松島町は、震災で甚大な被害を受けました。平成25年、この松島湾が「世界で最も美しい湾クラブ」に加盟。5月に予定されているJR仙石線の全線開通を控えて観光誘致につなげるための新たな取り組みが進み、復興への歩みは着実に進んでいます。



トピックス

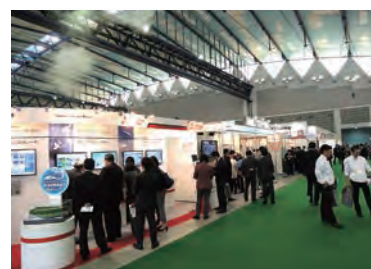
第3回国連防災世界会議が仙台で開催

(仙台市)

国連防災世界会議は、国際的な防災戦略について議論する国連主催の会議で、10年に一度開催されています。過去2回は、横浜と神戸で開催され、今回は平成27年3月に仙台で開催されました。会議は、仙台国際センターで開催され、各国の首脳や閣僚、認証NGOの代表らが参加したほか、期間中に仙台中心部や夢メッセなどで、一般の方を対象とした講演会や防災に関する展示会なども開催されました。



東北防災・復興パビリオン（せんだいメディアテーク）東日本大震災の概要のほか、被災自治体のそれぞれの取り組み事例を発信しました。



防災産業展 in 仙台（夢メッセみやぎ）我が国最先端の防災技術・製品を紹介したほか、出展企業等によるシンポジウムが開催されました。

内陸エリア

白石市 角田市 登米市 栗原市 大崎市
 蔵王町 七ヶ宿町 大河原町 村田町 柴田町
 川崎町 丸森町 大和町 大郷町 富谷町
 大衡村 色麻町 加美町 涌谷町 美里町



内陸部に完成した災害公営住宅（涌谷町）



内陸エリアは、太平洋に面していない宮城県内陸部の20市町村で構成されています。津波の被害こそなかったものの、栗原市で最大震度7を記録し、死者・行方不明者のほか、全半壊の住家が約10,000棟に及ぶ大きな被害を受けました。ピーク時には、約370の避難所が開設され、24,000人を超える被災者が避難していました。

平成26年度は、栗原市、大郷町、美里町で全ての災害公営住宅が完成したほか、ほかの地域でも災害公営住宅への入居が始まっています。また、津波により大きな被害を受けた沿岸部の海岸林を再生するため、内陸部でクロマツの苗木を生産し、それを沿岸部へ植栽する取り組みが進められるなど、内陸地域から被害の大きかった沿岸部への支援も続けられています。

一方で、放射線量の測定や風評被害の払拭など、東京電力株式会社福島第一原子力発電所事故への対応に追われる市町村もあり、今後の課題となっています。

内陸エリアの被害状況

	地域合計	県内合計
死者	30人	10,530人
行方不明者	6人	1,255人
全壊	1,346棟	82,993棟
半壊	8,502棟	155,126棟

〔平成27年1月31日現在〕

応急仮設住宅入居者数

	平成24年3月	平成27年1月
プレハブ住宅	282人	0人
民間賃貸借上住宅	5,148人	2,834人
計	5,430人	2,834人

〔平成27年1月31日現在〕

災害公営住宅整備(事業着手)状況

	平成26年2月	平成27年2月
計画戸数	336戸	360戸
着手戸数	336戸	336戸
完了戸数	55戸	245戸

〔平成27年2月28日現在〕



被災した酒造会社を視察する知事（栗原市）



沿岸部の海岸林再生のため、蔵王町で栽培されたクロマツの苗木（蔵王町）

2014年2月27日 木曜日

名取市の被災農家が白石市で再起

(白石市)



名取市北釜地区でチンゲンサイの生産を行っていた桜井さん。津波ですべてを流され農業再開を断念した桜井さんに手を差し伸べたのは長年の友人であり白石市で「蔵王グリーンファーム」を経営している菊地会長でした。被災した農家と共に再起をかけたチンゲンサイの生産が行われています。

被災した農家と共に再起をかけたチンゲンサイの生産が行われています。

2014年4月17日 木曜日

2年ぶりの出荷再開！

(丸森町)



福島第一原発事故を受け、平成24年5月から続けられていた丸森町耕野地区のタケノコの出荷制限。この日、約2年ぶりに耕野地区の出荷制限が解除されました。出荷に当たっては、東北大学の協力により、検査機器を活用して放射線量測定の自主検査が実施できるようになり、より安全な出荷体制を構築することができました。

2014年6月18日 水曜日

繋がるカフェ 夢想庵

(登米市)



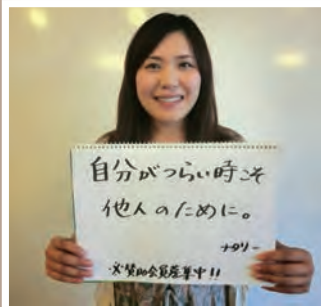
「柳津虚空蔵尊」の一角で「お寺 Cafe 夢想庵」を営む杉田史さん。支援物資を沿岸部の被災地に届ける支援活動も行っています。苦しい中でも前向きに頑張っている人々を目にして「人はたくましいものだということ

を大人たちが教えるべき。人間は崇高でたくましいものだから」と語ります。

2014年7月22日 日曜日

立ち上がれ！地元パワー

(村田町)



内陸部から沿岸部の支援活動を展開している「NPO 法人 ガーネットみやぎ」。理事長の澁谷直美さんは、慢性的な資金不足に悩みつつも、「自分がつらい時こそ人のために」をモットーに活動しています。

2014年10月26日 日曜日

「ふゆみずたんぼ」～水鳥たちと共生する古くて新しい農業

(大崎市)

震災復興と地域活性化のために大崎市が取り組む「ふゆみずたんぼプロジェクト」。冬の間も田んぼに水を張っておくという昔ながらの農法です。この田んぼで収穫したササニシキを使った新たな商品の発表会が、交流施設「醸室」にオープンした「ふつつつ食堂」で開催されました。



2014年11月30日 日曜日

復興の祈りをこめて大空へ

(大衡村)

日本の伝統文化である凧づくりや凧あげを通して、平和の大切さや物づくりの遊びの楽しさを伝える「スカイ・ハイ おおひら 2014 第3回みやぎ幸福凧あげ大会」。亡くなられた方への鎮魂の思いと、復興への祈りをこめて、多くの凧が大空を舞いました。



トピックス

日本最古の学問所「旧有備館及び庭園」の再建修理が進んでいます。

(大崎市)

仙台藩の学問所跡「旧有備館及び庭園」は、日本最古の学問所建築として国の史跡および名勝に指定されています。茅葺きの書院造の建物は震災により主屋を残して完全に倒壊しましたが、元の部材を最大限に生かしながら、再建修理が進められています。



▲ 地震により倒壊した有備館

再建修理の様子 ▶



みやぎの復興の歩み [2011.3 ~ 2015.3]

2011(平成23年)



3月

- 11日 東日本大震災(東北地方太平洋沖地震(M9.0、最大震度7))が発生
「宮城県災害対策本部」を設置。全市町村に災害救助法を適用
- 14日 東日本大震災の県内避難者数が最大(約32万人)に
- 24日 東北自動車道の全面通行止め解除
- 30日 三陸自動車道が全面復旧

4月

- 7日 宮城県沖を震源とするM7.1の余震発生。栗原市と仙台市で震度6強を観測
- 13日 仙台空港で震災後初となる国内臨時便が就航 **1**
- 14日 塩竈市魚市場で震災後初の水揚げ **2**
- 22日 「宮城県震災復興本部」を設置
- 27日 天皇皇后両陛下が被災地をご訪問(南三陸町・仙台市)
- 28日 県内初の応急仮設住宅への入居開始(塩竈市)
- 29日 「震災復興キックオフデー」を宣言
東北新幹線が全線復旧 **3**

6月

- 4日 皇太子同妃両殿下が被災地をご訪問(岩沼市・山元町)
- 20日 「東日本大震災復興基本法」が成立
- 25日 東日本大震災復興構想会議が「復興への提言」を決定

7月

- 25日 仙台空港国内定期便が再開

8月

- 10日 県内初の事業用仮設施設(しおがま・みなと復興市場)が完成

9月

- 1日 「東日本大震災 心の相談 ホットライン・みやぎ」を開設(仙台市)
- 12日 「東京電力福島第一原子力発電所事故対策みやぎ県民会議」を設立
- 25日 仙台空港ビルが完全復旧し、国際定期便(仙台-ソウル線)が再開

10月

- 1日 仙台空港アクセス鉄道が全線で運行再開
- 18日 「宮城県震災復興計画」を策定

12月

- 1日 「みやぎ心のケアセンター」を開設(仙台市)
- 11日 県内のライフラインが全て復旧(津波流出地域を除く)
- 26日 応急仮設住宅の整備が完了[2万2095戸(406団地)] **4**
- 30日 県内の全避難所が閉鎖

2012(平成24年)

2月

- 9日 復興特区第1号「民間投資促進特区(ものづくり産業版)」を認定
- 10日 国が「復興庁」を設置。仙台市に「宮城復興局」、気仙沼市及び石巻市に支所を設置

3月

- 11日 東日本大震災から1年。各地で追悼式などが行われる
- 19日 「東京電力福島第一原子力発電所事故被害対策実施計画」を策定
- 24日 県受託処理による県内初の災害廃棄物焼却炉の火入れ式を実施(巨理名取ブロック)
- 26日 「宮城の将来ビジョン・震災復興実施計画」を策定
「宮城県災害対策本部」を廃止

4月

- 1日 全国初の県内全公立学校への「防災主任」、拠点小中学校への「防災担当主幹教諭」を配置

5月

- 12日 天皇皇后両陛下が被災地をご訪問(仙台市)(~13日)

6月

- 16日 海岸林本格復旧に向けて「海岸林再生キックオフ植樹」を開催(七ヶ浜町)

7月

- 20日 県内初の「被災市街地復興土地区画整理事業」を認可(石巻市)

8月

- 5日 県内初の防災集団移転促進事業「岩沼市玉浦西地区造成工事」起工式を開催
- 20日 JR気仙沼線がバス高速輸送システム(BRT)による運行開始(気仙沼市・南三陸町・登米市) **5**

11月

- 3日 「三陸沿岸道路(歌津~本吉間)起工式」を開催(南三陸町)

- 1 月** 29日 県受託処理による災害廃棄物焼却炉 26 基が全て稼働 **6**
- 3 月** 11日 東日本大震災から2年。各地で追悼式などが行われる
26日 東日本大震災復興基金交付金(津波被災住宅再建支援分)を沿岸15市町に交付
- 4 月** 1日 県内初の災害公営住宅への入居開始(仙台市・石巻市・山元町) **7**
「みやぎ鎮魂の日を定める条例」が施行
「仙台・宮城デスティネーションキャンペーン」を開催(～6月30日)
- 5 月** 24日 「三陸復興国立公園」を創設 **8**
- 6 月** 20日 県内初の防災集団移転促進事業が竣工(仙台市)
- 7 月** 31日 県内初の応急仮設住宅団地の解体工事を完了(七ヶ浜町)
- 8 月** 20日 皇太子同妃両殿下が被災地をご訪問(七ヶ浜町・仙台市)
23日 沿岸被災地で県内初の大規模太陽光発電所(メガソーラー)が完成(東松島市) **9**
- 9 月** 1日 水産業復興特区を活用した新たな漁業がスタート(石巻市)
3日 「いちご団地」が完成。生産者に引き渡される(亶理町) **10**
- 11 月** 3日 「慶長使節船ミュージアム(サン・ファン館)」が再開(石巻市)
東北楽天ゴールデンイーグルスが日本シリーズを制覇。初の日本一に
- 12 月** 17日 県内初の「農村漁村地域復興基盤総合整備事業(農地整備事業)」の起工式を開催(岩沼市)
19日 兵庫県からの寄付金を活用した「地域コミュニティ施設」第1号が完成(亶理町)



- 2 月** 15日 ソチオリンピックのフィギュアスケート男子シングルで宮城県出身の羽生結弦選手が金メダルを獲得 **11**
- 3 月** 11日 東日本大震災から3年。各地で追悼式などが行われる
12日 県受託処理による災害廃棄物の処理を完了
- 4 月** 24日 仙台空港の民営化について、国がその実施方針を決定
30日 震災による県管理道路の通行止めが全て解除(石巻市・女川町)
- 5 月** 28日 旧野蒜駅が地域交流施設に改修・オープン(東松島市)
- 6 月** 27日 仮設住宅の入居期間の1年延長について、国から通知(入居期間:建設・入居から原則5年間)
- 7 月** 19日 「海の市」/「シャークミュージアム」がグランドオープン(気仙沼市)
22日 天皇后両陛下が宮城県をご訪問(気仙沼市、登米市、栗原市、南三陸町) **12**
- 9 月** 2日 文部科学省が東北地方への医学部設置の認可申請を可能とする1校として「東北医科薬科大学」の構想を選定
30日 災害廃棄物処理施設の解体撤去と用地の現状復旧並びに返地が終了
- 10 月** 4日 「わたり温泉鳥の海」が日帰り温泉を再開。
交流拠点施設「きすなぼーと"わたり"」がオープン(亶理町) **13**
- 11 月** 15日 大島架橋本体工事の着工式を開催(気仙沼市) **14**
16日 震災後休止していたご当地検定「宮城マスター検定」が再開
- 12 月** 6日 常磐自動車道のうち、未開通の相馬―山元ICと浪江―南相馬IC間が開通(山元町) **15**
14日 仙石線陸前大塚・陸前小野間のレール締結式を開催(東松島市)

- 3 月** 1日 常磐自動車道が全面開通
11日 東日本大震災から4年。各地で追悼式などが行われる
14日 国連防災世界会議と関連イベントが仙台市などで開催

宮城県への支援状況

国内外からの多大なる温かいご支援に支えられて、宮城は復興への歩みを進めています。いただいたご支援に改めて感謝申し上げますとともに、ここではその一端をご紹介します。

活動ボランティア延べ人数

71万167人 (H23.3.12 ~ H26.12.31)

災害ボランティアセンターの最新情報を公開中

詳しくは <http://svc.miyagi.jp>

他都道府県などからの人的支援数

宮城県 / 380人 (H27.1.1 現在)

市町村 / 986人 (H27.1.1 現在)

寄附金

県内の災害復旧および復興事業の財源のために活用させていただいております。

12,454件

339億684万円 (H26.12.31 現在)

義援金

被災された方々に対する生活支援のために活用させていただいております。

・県の受付状況

197,875件

265億9,439万6千円 (H26.12.31 現在)

・政府および義援金受付団体からの配分状況

1,821億2,079万9,880円 (H27.2.28 現在)

東日本大震災みやぎこども育英募金

東日本大震災による震災孤児などのために活用させていただいております。

11,281件

82億1,639万7,000円 (H26.12.31 現在)

ほかにも物心両面で本当にたくさんの心温まるご支援をいただきました。

今なお被災地製品の購入やチャリティーイベント、県外避難者へのご支援など、さまざまな形でご支援いただいておりますことに心より御礼申し上げます。

義援金、寄附金の取扱いについて 詳しくは

<http://www.pref.miyagi.jp/site/ej-earthquake/kihu.html>

震災復興ポスター「宮城から感謝をこめて」

県では、多くの皆さまからのご支援と励ましの言葉への感謝の気持ちをお伝えするため、県内各地の復興に向けた取り組みをポスターにして、県外を中心に掲示します。また、ウェブサイトでは、ポスターに写っている方々の詳しいエピソードをご覧いただけます。現在、宮城県内各地で、さまざまな復興に向けた取り組みが進行中です。これからも「宮城の今」を追加して発信していきますので、どうぞご覧ください。

Webサイト「宮城から感謝をこめて」

<https://sites.google.com/site/kanshamiyagi2/>



被災者支援情報

information



宮城県では、東日本大震災により被災された方々の生活支援や事業再建に向けたさまざまな情報を発信しています。ぜひ活用ください。



宮城県ホームページ

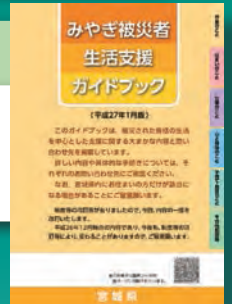
<http://www.pref.miyagi.jp/site/ej-earthquake/>

宮城県の東日本大震災に関する情報を随時更新し発信しています。主に、「震災・復興」の категорияで関連情報を公開しています。

みやぎ被災者生活支援ガイドブック

<http://www.pref.miyagi.jp/site/ej-earthquake/guidebook.html>

被災された方々への生活を中心とした支援に関する大まかな内容と問い合わせ先を掲載しています。県ホームページにて閲覧・ダウンロードできるほか、支援内容に追加・修正などがあった場合は、随時更新します。



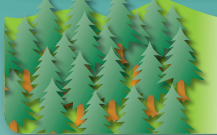
中小企業施策活用ガイドブック

<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/keisyosom/h26chusho-books.html>



みやぎの農業施策ガイドブック

<http://www.pref.miyagi.jp/site/nourinsui/gaidobukku-nougyou-26.html>



みやぎの林業施策ガイドブック

<http://www.pref.miyagi.jp/site/nourinsui/gaidobukku-ringyou-26.html>



みやぎの水産業施策ガイドブック

<http://www.pref.miyagi.jp/site/nourinsui/gaidobukku-suisangyou-26.html>



放射能情報サイトみやぎ

<http://www.r-info-miyagi.jp>

宮城県内の放射線・放射能に関する情報を正確に分かりやすくお伝えしています。



みやぎ復興プレス

<http://www.pref.miyagi.jp/site/ej-earthquake/press.html>

宮城の復興に関わる皆さまに、宮城県の復興状況や被災者支援情報など、復興に関する主な情報を月1回お届けしています。



メールマガジン版の登録はこちら！



全国の心温まるご支援のもと、宮城が復興していく姿を、復興に向けて頑張る人々やそれを支える人々にスポットを当てながらご紹介します。詳しくは宮城県復興応援ブログ「ココロプレス」をご覧ください。

ココロプレス

<http://kokoropress.blogspot.com/>

みやぎアクセスマップ



凡例

	自動車専用道路		JR線
	一般道		鉄道
	新幹線		鉄道運転見合わせ(バスによる代行輸送)
			BRT(バス高速輸送システム)運行

JR (経路における列車の乗車時間の最速
あくまで目安の時間となります。)

飛行機 (所要時間は最速のものです。)

東京—仙台(東北新幹線)	約1時間30分
新青森—仙台(東北新幹線)	約1時間30分
盛岡—仙台(東北新幹線)	約39分
秋田—仙台(秋田新幹線/東北新幹線)	約2時間10分
山形—仙台(仙山線)	約1時間5分
福島—仙台(東北新幹線)	約20分

札幌(新千歳)—仙台(ANA/JAL/IBX/ADO/SKY)	1時間10分
成田—仙台(ANA)	55分
小松—仙台(ANA/IBX)	1時間
名古屋(中部)—仙台(ANA/IBX)	1時間10分
大阪(伊丹)—仙台(ANA/JAL/IBX)	1時間10分
大阪(関西)—仙台(APJ)	1時間20分
神戸—仙台(SKY)	1時間25分
広島—仙台(ANA/IBX)	1時間20分
福岡—仙台(ANA/JAL/IBX/SKY)	1時間40分
沖縄(那覇)—仙台(ANA)	2時間30分

※平成27年3月1日の情報です。更新される場合がありますので、事前にご確認ください。

復興の最前線・宮城にぜひお越しください!

発行：平成27年3月

宮城県震災復興本部(事務局：震災復興推進課)
〒980-8570
仙台市青葉区本町三丁目8番1号

TEL 022-211-2408 FAX 022-211-2493
E-mail fukusui@pref.miyagi.jp
URL <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/fukusui/>

写真提供：石巻市、岩沼市、大崎市、大衡村、おながわまちづくりJV工事事務所、角田市、河北新報震災アーカイブ、川崎町、栗原市、気仙沼市、塩竈市、七ヶ浜町、JAみやぎ亘理、仙台市多賀城市、名取市、東松島市、復興庁、©ブルーアワーズ(沖裕之)、南三陸町、南三陸町観光協会、宮城県看護協会、山元町、UR都市機構、浦谷町、亘理町(五十音順・敬称略)